

福祉の ひろば

2003.3.1

No.8

- ボラ吉のボランティア1日体験記 2
- あなたの「活動したい」につなげます 4
- こんな取り組みをしています！
 - ・弘前家庭看護きさらぎ会（弘前市）..... 5
 - ・三田保育園（下田町）..... 5
- おらほの社協は温泉つき 6
- 福祉ってどうか~ 7
- ソボクな疑問 7
- 県社協から 8

テーマ 春から始めよう！ボランティア



名川町では、ふれあいいいきサロン「よりあっこ」を小学校区で開催しています。年代を超えて、おしゃべりやゲームを通して健康・生きがいづくりを行なっています。写真は町立鳥谷小学校児童とボーリングを楽しんでいる様子です。

ボラ吉



のボランティア1日体験記!

ボラ吉は、ある日、ボランティアを一日体験してみることになりました。ボランティアは、さまざまな課題を自分の意志で進んで解決しようとする活動で、いろいろな種類や方法、関わり方があります。ボラ吉の一日から、あなたにぴったりの活動が見つかるかもしれませんよ。



ボランティアセンターに
やってきました。
ちよっとドキドキするなあ。
とにかく相談してみよう……

あの……
ボランティアを
したいんですが……



どういう
活動がしたいですか。
ボランティアを
求めている
施設や団体へ
橋渡ししますよ。



ボランティアを始めるなら
ボランティア活動保険への
加入をお勧めします。
万が一の時の
事故の補償だけでなく
ボランティアの身分証明的な
意味もあるんですよ。
掛金は三百円からですよ。

安心だね。
入っておこう。



保険にも入ったし、
これで安心して
ボランティアできるな。
ボランティアにも
いろいろあることも
分かったし、
よしっ、
ボランティア1日体験
がんばるぞー!



古切手の
整理ボランティアだよ。
集めた使用済み切手は
国内外の収集家に
買われて収益になり、
そのお金が福祉の
いろいろな分野で
役立ってるんだって。
切手は消印も含め
周りを1cmくらい残して
切り抜くんだった。



アルミを収集・換金して
車イスを寄贈している
団体もあるけど、
車イス一台にはアルミが
1トンくらい必要なんだ。
ブルタブだけを
集めている人も
多いけど、
アルミの再利用
だから、缶を
集めた方がいいね。

アルミ缶とスチール缶に
きちんと分けて、水洗い
した後、つぶして
収集してね。



老人ホームで
食事の介助をします。
お掃除や話し相手、
クラブや行事の
お手伝いもあります。
保育園や障害者施設
などの福祉施設で
ボランティアが活動
しているの、直接
問い合わせってね。

※写真協力: なのはな苑



食事の時間に合わせて配達します。
配食サービスは
市町村社会福祉協議会や
ボランティア団体などが
実施していて
それぞれ配達の頻度や
作業の内容も違うので
直接問い合わせみてね。
おはあちゃん
お弁当ですよ。
はい、いただきます。
ありがとうね。
助かるよ。
また、たのむね。
ボラ吉

※写真協力: 南部町社協



障害がある人や高齢者の
お出かけのお手伝い。
移送サービスって
ドアからドアへのサービスで
便利だね。
車いすのまま乗ることが
できる車もあるんだなあ。
ボランティアは普通運転
免許が必要。
移送サービスは市町村
社会福祉協議会やNPOなど
県内では約四十か所で行
われているんだって。

※写真協力: 青森市社協



障害者にパソコンを
教える
「パソコンボランティア」
に挑戦!
パソコンの操作を
教えるだけでなく、
初期設定やパソコン
の修理もしているん
だよ。
写真は…「アライブ・パル」電話0178-28-0690
<http://www.abepal.com/>で詳しい内容を確認してね。

※写真協力: 青森市社協



四つのクラスがあるから、
自分のレベルで
勉強できます。
世界中の人と友達に
なれることも
魅力ですよ。
外国人に日本語を
教えるお手伝い。
普通に話している
ときには
気づかないけど、
日本語って
難しいね。
ボランティアは、
みんな日本語の
教師養成講座の
卒業生。
誰でも教えられる
わけではないので、
日本語教育を
勉強してからトライ!

写真は…「青森日本語クラフ」
電話 017-738-7625



青森県内には
十四万人の
ボランティアが
いるんだって。
みんな、
たくさんの出会いと
笑顔が活動を続ける
元気になって
いるんだと実感!!
楽しい一日だったなあ。
まだまだいろんな
活動があるんだよ。
自分にとって合った活動を
見つけるために、
明日、また相談に
行ってみよう。

次のページへ
つづく

収集方法や回収場所、収集団体、換金先など、正しい情報はボランティアセンターで

あなたの「活動したい」につなげます。



これからボランティア活動を始めてみたいと思ったら、活動の紹介やボランティア登録をしている窓口へ行ってみましょう。ボランティアの情報が満載だし、体験プログラムや入門講座を開催しているところもあるよ。活動中の方には、活動資金や運営の支援をしたり情報交換の場を作るなどの支援をしています。ボランティアのことなら何でも、まずは相談してみましょう。

青森県ボランティアセンター（主管／青森県社会福祉協議会）

開設時間 8：30～17：00／月～金曜日 9：00～16：00／第2・4土曜日

事務局 030-0822 青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ2F

☎017-777-9301 FAX017-722-2739

E-mail VC02000@em.shakyo.wamnet.wamgo.jp

活動内容 市町村ボランティアセンター、ボランティアグループ、NPO法人、企業などと連携し、情報を提供している。ボランティアのコーディネーター、リーダーの養成研修も実施。センター内には、ビデオライブラリー、図書コーナー、登録団体用のミーティングルーム（無料）もある。

登録 無料

ホームページ <http://www.infoaomori.ne.jp/aosyakyo/>

情報誌 「青森人」／市町村社協ボランティアセンター一覧、ボランティア活動のメニューや気をつけたいことなどがコンパクトにまとめられた冊子。ボランティア保険についても詳細に紹介している。

青森県身体障害者福祉センター ねむのき会館

開設時間 9：00～17：00／火・祝祭日を除く

事務局 030-0122 青森市野尻今田52-4

ねむのき会館

☎017-738-5033 FAX017-738-0745

E-mail nemunoki@siriu6.ocn.ne.jp

活動内容 障害のある方たちをサポートする目的で、各教室の講師やスポーツ、運転ボランティアなどを募集。特に、平成15年度は、文化活動支援のための教室を開催するので、趣味や特技をお持ちの方を募集。

会館の利用者のための活動や会館のイベントなどのボランティア活動が中心。

青森県体験活動ボランティア活動支援センター

開設時間 10：00～15：00／月曜日を除く

事務局 030-0111 青森市荒川字藤戸119-7

☎017-739-0900

E-mail alis50@net.pref.aomori.jp

活動内容 学校内外や子ども会などの体験活動を主体にしたボランティアを推進。市町村教育委員会、公民館などのボランティア体験活動支援センターの窓口。

平成14年8月発足し、現在は広報が中心。

将来的には30歳程度まで対象を広げる予定。

ホームページ <http://volunteer.nier.go.jp/center-zenkei.htm>

市町村ボランティアセンター（市町村社会福祉協議会）

青森市 ☎017-723-1340

弘前市 ☎0172-33-1161

八戸市 ☎0178-47-2940

黒石市 ☎0172-52-2674

五所川原市 ☎0173-34-3494

十和田市 ☎0176-23-2992

三沢市 ☎0176-53-3422

むつ市 ☎0175-23-5093

平内町 ☎017-755-3956

蟹田町 ☎0174-22-2617

今別町 ☎0174-35-3081

蓬田村 ☎0174-27-2828

平舘村 ☎0174-25-2780

三厩村 ☎0174-37-2280

鯉ヶ沢町 ☎0173-82-1602

木造町 ☎0173-42-4660

深浦町 ☎0173-74-3111

森田村 ☎0173-26-3836

岩崎村 ☎0173-77-3289

柏村 ☎0173-25-2468

稲垣村 ☎0173-46-3049

車力村 ☎0173-56-3051

岩木町 ☎0172-82-2353

相馬村 ☎0172-84-3373

西目屋村 ☎0172-85-2255

藤崎町 ☎0172-75-2030

大鰐町 ☎0172-47-5151

尾上町 ☎0172-57-5311

浪岡町 ☎0172-62-9011

平賀町 ☎0172-44-5907

常盤村 ☎0172-65-2056

田舎館村 ☎0172-43-8111

碓ヶ関村 ☎0172-45-2725

板柳町 ☎0172-73-5894

金木町 ☎0173-53-2241

中里町 ☎0173-57-4841

鶴田町 ☎0173-22-3394

市浦村 ☎0173-62-3285

小泊村 ☎0173-64-2905

野辺地町 ☎0175-64-0401

七戸町 ☎0176-62-6790

百石町 ☎0178-50-1601

十和田湖町 ☎0176-72-3223

六戸町 ☎0176-55-2943

横浜町 ☎0175-78-6531

上北町 ☎0176-56-5552

東下町 ☎0175-63-2717

下田町 ☎0178-56-4415

天間林村 ☎0176-68-2249

六ヶ所村 ☎0175-75-3000

川内町 ☎0175-42-2002

大畑町 ☎0175-34-3537

大間町 ☎0175-37-4558

東通村 ☎0175-28-5115

風間浦村 ☎0175-35-2243

佐井村 ☎0175-38-4181

脇野沢村 ☎0175-44-3550

三戸町 ☎0179-22-0262

五戸町 ☎0178-62-2547

田子町 ☎0179-32-4045

名川町 ☎0178-76-2662

南部町 ☎0179-34-3353

階上町 ☎0178-88-3067

福地村 ☎0178-84-3502

南郷村 ☎0178-82-3000

倉石村 ☎0178-77-2844

新郷村 ☎0178-78-3456

紹介グループ

紹介

弘前市

弘前家庭看護

きささらぎ会

一人暮らし高齢者との会食と絵画教室を月三回、第一・第三月曜日とその他一回、もう十八年も弘前市福祉センターで開催しています。

午前中、高齢者のための会食を作る班と絵画教室の二班に分かれます。先輩が後輩に親切に教えてくれます。年齢は八十六歳から二十四歳。老若男女、健康者、障害者、どなたでも一緒に絵を描いています。無心に…。

会員が作った昼食は、みんなで一緒に楽しく、話に花を咲かせながらいただきます。

会の自慢は三段重の「年越そば弁当」です。大晦日に八十六歳以上の方に配達する活動は二十年も続いており、平成十四年の暮れも四十五食配達しました。弁当を運んでいるのは町内の七人、盛り付けには三人のボランティアが協力してくれました。



三段重の豪華な年越そば弁当の配達を20年も続けています

こうした長年の活動に対し、町会からは高齢者一人あたり千円予算化してもらい、共同募金会や弘前市社協からも補助していただいています。小さいながらも長年続けているこうした活動が地域に根差しています。

連絡先

〒036-8057 弘前市八幡町2-2-12 (代表 三戸さん方)
電話 0172-32-7692

こんな取り組みをしています!

施設紹介

下田町

三田保育園 地域子育て支援センター

たんぽぽルーム

〒039-2125 下田町字三本木74の28 電話0178-56-2008



★下田町初のセンター開設

地域子育て支援センターは、子育ての相談や情報提供を行うために県内六十六カ所にあります。下田町では三カ所の保育園に設置されています。下田町は、北部が三沢市のベッタウンになっていたり、転勤する家族が多く近所付き合いが少ない状況です。そこで、三田保育園は、乳幼児を持つ親を支援するために町の指定を受けて、平成九年四月から下田町初の地域子育て支援センターを開設しました。保育園からセンターへ経験豊富な保育士二名が移り、今では十二組の親子が週一回利用しています。

★育児メールで応援

センターでは、育児相談や歯磨き虫歯指導・おやつ作り・オカリナコンサート等の講座を行うとともに、園庭や保育室の開放、一時預かり保育、絵本を貸し出しするといった支援活動を積極的に進めています。また、町から情報をもらい、子どもが生まれた家庭に誕生祝のはがきを送っています。このはがきには、返信はがきが付いていて、育児メール購読の申込書となつています。育児メールとは、保育園から希望者に一年

みんなの目配りでのびのびとおしゃべり



間毎月無料で送る育児情報チラシのことで、誕生から月ごとの赤ちゃんの成長に合わせた子育てのアドバイスや小児科を紹介するといったお役立ち情報が載っています。現在五十家族が購読中です。

★たんぽぽクラブでリフレッシュ

センター担当の保育士近藤さんは「センター開設時はじめは子ども用の遊びのプログラムを行ったのですが、お母さん達はあまり興味を示しませんでした。平成九年の十月には、お母さんが自分達で企画から実施まで行うサークル『たんぽぽクラブ』が発足しました。このサークルで実施しているのが、エアロビ教室などです。実は、お母さん達の希望は、保育士に子どもをお願いして息抜きを持ち、趣味の教室を楽しんでリフレッシュすることだったんです。また、お母さん達はサークル仲間とおしゃべりの中で、子育ての情報交換もしているようです。今では、友達になった親同士休日にバーベキューをしていることも耳にします」と親同士のつながりを嬉しそうに話します。

★参加してもらうために

さらに近藤さんは、「これからは、保健師や子育てメイトから情報を聞き、地域で孤立し閉じこもりがちな親子に声掛けをしてセンターに来ていただき、サークルに参加してもらえよう掘り起こしをしたい。また、出前講座、出前相談をしていきたい」と抱負を話しました。

おらほの社協は温泉つき!!

毎日の生活に疲れると「広くて大きい風呂に入りたい」と思う人も多いはず…。風呂に入って、社協に困りごとやボランティアの相談をする…。一石二鳥で心身ともにリフレッシュしませんか？
県内11ヶ所の温泉つきの社協を紹介します。

安くて広いゆったり熱の湯(車力村)



車力村ウェルネスセンター

住所：車力村車力花林48
電話：0173-56-4126
泉質：ナトリウム-塩化物泉
効能：神経痛、関節痛、運動麻痺、冷え性等
営業時間：8時から21時まで月曜日定休日
入浴料：大人300円、中人140円、小人60円

お肌つるつるあったまる(木造町)



しゃおちゃん温泉

住所：木造町若緑52
電話：0173-42-1277
泉質：ナトリウム-塩化物泉
効能：筋肉痛、五十肩、痔疾、病後回復期等
営業時間：9時から22時まで第2第4火曜日定休日
入浴料：大人200円、小人100円
村民以外50円増し

65歳上の町民無料(藤崎町)



藤崎町西豊田温泉

住所：藤崎町西豊田1-3
電話：0172-75-3232
泉質：ナトリウムカルシウム-塩化物泉炭酸水素塩泉
効能：神経痛、筋肉痛、関節痛、冷え性
営業時間：9時から21時まで毎月1日15日定休日
入浴料：大人250円、小人50円

心身ともにリフレッシュ(深浦町)



深浦町フィットネスプラザ「ゆとり」

住所：深浦町深浦中沢34-1
電話：0173-74-4514
泉質：ナトリウム-塩化物泉
効能：神経痛、関節痛、うちみ、くじき、冷え性
営業時間：10時から21時まで月曜日定休日
入浴料：大人300円、小人140円

湯冷めしない湯(金木町)



金木中央老人福祉センター

住所：金木町川倉字七夕野426-11
電話：0173-53-3864
泉質：低張性アルカリ温泉
効能：切り傷、やけど、婦人病、健康増進等
営業時間：9時30分から20時まで木曜日定休日
入浴料：大人300円、小人200円、幼児無料
町民以外は100円増し

カラオケもできる湯(柏村)



じよっぱり温泉

住所：柏村桑野木田若宮258-2
電話：0173-25-2390
泉質：ナトリウム-塩化物泉
効能：運動麻痺、うちみ、くじき、健康増進
営業時間：9時から21時まで第1第3月曜日定休日
入浴料：大人260円、小人120円

長生きしてけへえ～(鶴田町)



鶴田沖津温泉

住所：鶴田町鶴田沖津193
電話：0173-22-3394
泉質：ナトリウム-塩化物泉
効能：神経痛、筋肉痛、慢性消化器病等
営業時間：10時から14時まで金・土・日定休日
入浴料：65歳以上の一人暮らし、70歳以上の町民のみ入浴可、無料

ぬぐだまると評判の湯(常盤村)



常盤村老人福祉センター

住所：常盤村常盤富田70-1
電話：0172-65-2626
泉質：アルカリ性単純温泉
効能：リウマチ性疾患、運動器障害、神経麻痺等
営業時間：6時から21時まで毎月1日定休日
入浴料：大人220円、中人90円、小人50円

あったまる湯(脇野沢村)



脇野沢村保養センター

住所：脇野沢村脇野沢七引157-2
電話：0175-44-3424
泉質：ナトリウムカルシウム-塩化物泉
効能：リウマチ性疾患、運動器障害、更年期障害等
営業時間：10時から20時まで月曜日定休日
入浴料：大人200円、小人100円
村民以外50円増し

風邪知らずの湯(横浜町)



よこはま温泉

住所：横浜町三保野57-2
電話：0175-78-2666
泉質：ナトリウム-塩化物泉
効能：切り傷、やけど、消化器病等
営業時間：11時から20時まで木曜日定休日
入浴料：大人350円、小人150円、幼児60円、65歳以上は月～水の11時から16時まで無料

ゆったり～リ休養(七戸町)



七戸町総合福祉センター「ゆうずらんど」

住所：七戸町立野頭139-1
電話：0176-62-6790
泉質：アルカリ性単純温泉
効能：リウマチ性疾患、運動器障害、疲労回復等
営業時間：6時30分から16時まで月曜日定休日
入浴料：大人300円、小人100円
65歳以上等は100円



Q 在宅介護支援センターって何？

A 高齢者の介護に関する相談や支援を行なうことで、県内全ての市町村に1ヶ所以上あり、合計で166ヶ所あります。(平成14年4月1日現在)

相談は電話や来所のほかに、福祉や医療の専門相談員が自宅訪問もできます。相談は無料で24時間受け付けており、相談内容の秘密は必ず守ります。

保健・福祉サービスの利用手続の受付や代行もでき、福祉用具の展示・紹介、高齢者向け住宅の増設のアドバイスをしています。

そのほか、多くのセンターでは、介護予防のための教室や介護方法の研修を行なっており、高齢者の心身や家族の状況、サービス利用の調査を行い、高齢者が安心して地域で暮らせるようにサポートしています。

センターは、各市町村又は市町村から委託された事業者が実施していますので、所在地については各市町村の保健・福祉担当窓口へお問合せください。

福祉 つていなか



バコー ユティットさん
(ハンガリー ケチケメート出身)

ハンガリーは海のない国ですので、青森市に来て、青い海公園など海の見える素敵なスポットがたくさんあってよく出かけています。寒さは、ハンガリーと同じくらいですが、青森には雪が積もり、その多さにビックリしました。

私は、ハンガリーのケチケメート市で、市役所の職員として働いています。昼は国際交流の担当をして午後4時から英語の教師として午後9時くらいまで働くという毎日でした。青森市と姉妹都市である関係から昨年の7月に、青森市役所国際交流推進課に勤務して市内の色々なところを廻って研修しています。

青森にきて、強く思ったことは、ねぶた祭りの大きさと勢いにビックリしました。また、秋の紅葉がとても素敵でした。ハンガリーでは、秋になれば黄色中心の色ですが、青森の紅葉は、赤や茶色、黄色などコントラストがとてもバランスよくて綺麗でした。

私は、冬季アジア大会の通訳ボランティアとして活動しました。たくさんボランティアが協力して運営された大会でとても良い経験をしました。

ハンガリーでは、たいてい祖父母とは同居していませんが、近くには住んでいて週末には一緒に食事を楽しみます。ハンガリー人にとって、家族は何より大切なのです。政治の体制が変わり、経済の再建が大きな課題ですが、ボランティア活動や高齢化社会への対応など、日本から学べる点も多いと思います。

私の研修は3月末で終わりますが、5月まで日本に居て歴史的な館や遺跡を見て歩く予定です。青森には、また是非きたいと思っています。

あつぷるハートから

～福祉事務所Tケースワーカーからの相談～



Oさんは、精神障害者。知的障害を持つ娘と暮しているけれど、家族とは疎遠になっている。日常生活費の管理がうまく出来ないから、借金もしてしまっている。うーん。どうしたらいいのかな？社協の権利擁護事業はこういう人も使えるのかな？

このように福祉事務所のワーカーと連絡調整を行い、障害を持つ方の日常生活費の管理や福祉サービスを提供し地域で安心して暮らせるように支援します。

連絡先 青森県地域福祉権利擁護センター
電話 017-721-1362



青森県福祉人材センター

福祉人材センター・バンクでは、福祉の職場で働きたいと考えている人のために、求職の相談・就職斡旋をしています。

◇開設時間 8:30～17:00 (土・日・祝祭日は休み)
※青森のみ第2・第4土曜日(9:00～16:00)開設しています。

◇求人テレホンサービス Tel 017-731-1111

◇福祉の仕事・職種・資格のホームページ
<http://www.shakyo.or.jp/hot/>

福祉の仕事に就きたい人への講習会、説明会

○ホームヘルパー2級課程養成研修 ○福祉ナイトスクール ○社会福祉ゼミナール ○就職ガイダンスと福祉のごと相談フェア ○福祉人材育成講習会 など

ご相談・お問い合わせは下記へ

青森県福祉人材センター TEL 017-777-0012

弘前福祉人材バンク TEL 0172-36-1830

八戸福祉人材バンク TEL 0178-47-2940

身体拘束ゼロ介護相談室



点滴のチューブを外してしまうので、ミトンの手袋をつけてもらっています。これも身体拘束になるそうですが、それではどうしたら良いのですか？

身体拘束をしない
ケアの工夫あります！

手袋をつけることは、手指の自由を奪う身体拘束にあたります。

身体拘束をしないためには、その人の行動の動機を探ることから始めます。チューブがきちんとついていないために、違和感を感じているのかもしれませんが、チューブが動くのが面白くて触っているうちに外れてしまうのかもしれませんが、こうした原因を排除することから工夫が始まります。

まずはきちんと処置がされているのかを細かく確認し、チューブが視野に入らないようにしたり、関心がほかに向くように音楽をかけたり、アクティビティを行なうなどの工夫が考えられます。

介護の工夫に関する相談は

身体拘束ゼロ介護相談窓口 (青森県社会福祉協議会内)

電話 017-731-3214 FAX 017-731-3215

毎週月曜日と木曜日午前10時から午後3時までは専任相談員が対応します

疲れを癒すお湯のある社協4選!!

浴場名	住所	電話	営業時間	入浴料
いこいの湯	鯉ヶ沢町舞戸町後家屋敷9-4	0173-72-1602	7時30分から21時30分まで 月曜日定休日	大人300円 中人140円 小人40円
福祉プラザ「のびのび館」	百石町堤田196-1	0178-50-1601	10時から15時まで 土、日定休日	65歳以上の町民のみ入浴可、 200円
六戸町老人福祉センター	六戸町犬落瀬柴山3-9	0176-55-2943	10時から15時まで 火・金のみ営業	無料
五戸町社会福祉センター	五戸町鍛冶屋窪上36	0178-62-2547	10時から15時まで 月・水・金のみ営業	大人350円、小人150円、 65歳以上の町民は無料

アジアへ届け！佐藤会長の聖火！

1月31日、青森アジア冬季大会の聖火ランナーとして、本会の佐藤義男会長が、青森銀行新町支店からアスパムまで駆け抜けました。

佐藤会長は、今大会の210人のランナーのうち最年長ながら、沿道を埋める大勢の歓声と応援に笑顔で応える余裕を見せて、見事完走。アジアの平和と友情の炎をつなげました。



県社協から

苦情解決体制に関するアンケート

福祉サービス相談センターでは平成15年度4月に福祉サービスを提供する県内各事業所を対象に、苦情解決体制に関するアンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

また、第三者委員をお探しの事業所には、ご紹介もしておりますので、お気軽にお電話ください。

福祉サービス相談センター

(青森県運営適正化委員会)

TEL017-731-3039

●ご協力ありがとうございました。(12~1月分)

■青森県社会福祉協議会への寄付

(民間の社会福祉事業に使わせていただいております)

- ・(株)浅虫観光ホテル様
- ・青森国際ホテル様
- ・ほろがけ生きがい会様
- ・東洋建物管理株式会社様
- ・城博流吟詠会青森県本部様
- ・青森友の会様
- ・石油防災(株)青森防災事業所様
- ・「志賀澤子の一人芝居」公演実行委員会様
- ・青森銀行・青森銀行関連会社役員一同様

■青森県善意銀行でのお預かり

(金銭や物品などの善意をお預かりして、社会福祉施設や民間団体へお届けしています)

- ・青森県労働者福祉協議会様からお預かりした金銭を、県内11ヶ所の小規模作業所へ贈りました。
- ・果林様からお預かりしたチャリティー舞踊ショー入場券を、県内の社会福祉施設へ贈りました。
- ・(株)かねさ味噌様からお預かりした味噌を、県内251の社会福祉施設へ贈りました。
- ・(有)マップ青森様からお預かりしたパソコンプリンターを、waiwaiはうすコスモスとしらかば作業所へ贈りました。

■発行所

〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号
県民福祉プラザ2階

社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

TEL017(723)1391 FAX017(723)1394

http://www.infoaomori.ne.jp/aosyakyo/

E-mail:aosyakyo@infoaomori.ne.jp

■印刷所

株式会社コーセイ印刷

編集後記



今回はボランティアを特集で取り上げました。青森県では冬季アジア大会が開

かれ、その中で6千人以上のボランティアが選手や観客の案内、会場整備、通訳等の各分野で活躍したということです。ボランティアの種類は無数にあるので、自分に合ったものを見つけ、何よりボランティアをするとき大切なのは楽しんですることだと思います。そして、ボランティアで汗を流した後は温泉で疲れを癒す、いいですねー！ (M. O)

ホームページでも「福祉のひろば」をご覧ください。